会議要録

会議の名称	平成30年度 第1回和光市文化財保護委員会
日時	平成30年5月15日（火） 14:00～15:30
場所	和光市役所 5階 503会議室
出席者 ※敬称略	【文化財保護委員】10名の委員のうち9名が出席 田中 明、矢崎康彦、小田部玲子、森 朋久、鈴木敏弘 内田はま子、並木實、大平秀和、関口泰典 ※欠席：小柳一彦 【事務局】 [教育委員会] 戸部教育長、東内教育部長 [生涯学習課] 横山課長、鈴木課長補佐兼文化財保護担当統括主査、 文化財保護担当 岸主査、糸野主事、安井主事
傍聴者	0名

1 開会

2 教育長あいさつ

それでは、ご挨拶申し上げます。本日は、お忙しいところ和光市文化財保護委員会にお集まりいただき、誠にありがとうございます。街の木々も桜から新緑に姿を変え、段々と夏を思わせる気候が増えてまいりました。当市においても、5月1日から、クールビズの取り組みを始めております。

本日は平成30年度第1回目の会議となります。4月1日付けの人事異動により、星野教育部長から東内教育部長へと教育委員会においても職員体制に変更がございました。

新体制となりましたが、引き続き和光市の文化財保護行政に取り組んで参る所存です。今後とも、文化財保護委員会委員の皆様のお力添えをいただければ幸いです。

さて、4月に入りまして、生涯学習課に和光市史編さんプロジェクト・チームが結成されました。和光市制の施行から50周年を間近に控え、昭和62年の通史編 下巻の刊行が最後となっている和光市史の、“続編”編さんのためのプロジェクトチームとなっております。こちらは、市長の公約にも掲げられているプロジェクトでございます。

本日の議題には、新たな市史の編さんに向けた「和光市史編さん準備委員会」の委員の選出がございます。

文化財保護委員会の皆様のご協力を賜わりながら、この市史編さん事業につきましても進めていきたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

それでは、各議題の審議をよろしくお願いいたします。

3 異動職員紹介

異動職員及び市史編さんプロジェクト・チームメンバーの紹介。

○事務局より説明・報告

1. 市民参加条例第 12 条第 4 項の規定による会議公開及び要点記録による会議録の公開について説明。
2. 配布資料について説明。
3. 小柳委員より所用による欠席の事前連絡をいただいている旨を報告。
4. 以降の議事進行は委員長が行う。

4 議題（協議・報告）

(1) 和光市史編さん準備委員会について

○委員長

本日の会議は不開示情報の審議がないため、公開とする。

議題（1）和光市史編さん準備委員会について、事務局より説明願いたい。

○事務局

和光市史編さんの事業概要、予定スケジュール等を説明。

- ・生涯学習課に和光市史編さんプロジェクトチームが結成され、新市史の刊行に向け、平成 30 年 4 月 1 日から編さん事業に着手している。
- ・市史の内容は、昭和 62 年の和光市史・通史編下巻の刊行後の続編として、昭和の終わり（60 年代）から平成 31（2019）年度までの内容及び昭和以前のものであっても、新たな調査などにより発見された成果や、資料の掲載を考えている。
- ・冊子のほか、映像編として動画を含む DVD も制作したいと考えている。
- ・市史の続編の冊子完成（刊行）は、2021 年度を予定しているが、映像編の DVD は、市制施行 50 周年に当たる 2020 年度秋頃の完成を予定し、記念式典での発表を目指している。
- ・詳細は、平成 31（2019）年度に立ち上げ予定の「和光市史編さん委員会」において決定する。
- ・市史編さん着手の 1 年目に当たる平成 30（2018）年度は、来年度以降の本着手の準備段階という位置付けとし、準備委員会を組織する。
- ・送付した議題 1 の資料のとおり、要綱を定め、準備委員会を立ち上げる準備をしている。
- ・市史編さん準備会委員の所掌事務等を資料に沿って説明。
- ・準備委員会の協議の中で専門的項目の検討が必要になった際、その専門性に応じた委員へ改めてご協力いただきたいと考えているため、要綱では「3 名以内」となっているが、文化財保護委員 2 名を準備委員会委員として選出したい。

○委員長

事務局の説明に関し、ご質問等のある方はいらっしゃるか。

→【委員一同】特になし。

和光市史編さん準備委員会委員に立候補、または推薦される方はいらっしゃるか。

○矢崎委員

鈴木委員、小柳委員の2名を推薦したい。これまでのご経験等を踏まえ、お二人が適任と思う。

○委員長

お二人への強い推薦をいただいた。鈴木委員いかがか。小柳委員は本日欠席のため、事務局からご確認いただきたい。

→鈴木委員、承諾。

→事務局から小柳委員へ連絡を取り、小柳委員、承諾。

→鈴木委員、小柳委員の2名を和光市史編さん準備委員会委員とする。

(2) 午王山遺跡史跡整備構想について

○委員長

議題(2) 午王山遺跡史跡整備構想について、事務局より説明願いたい。

○事務局

事務局では、2022年の生産緑地地区指定解除のタイミングでの公有化を見据え、年度内に構想を策定したいと考えている。

委員各位に主にご検討いただきたいのは、構想本文の内容と午王山遺跡史跡構想の対象となる範囲である。

資料として2つの案をお示しした。違いは、保存する範囲、面積である。案1は広い範囲を対象として、案2の方は1つの区画分狭くなっている。構想案の本文は、案1の広い範囲を対象とした内容で明記してある。

公園としてのあり方を、環濠を含めた遺跡の保存のみとするか、遺跡に興味のない方も誘導し、興味を持っていただけるように、またシティプロモーションの観点から広場を設け、公園として多様に活用できるよう広く保存するかである。

ここからは、基本構想(案)の大枠と、今後のスケジュールについて説明する。

基本構想(案)の大枠の説明。

①策定の目的(本文1ページ)

午王山遺跡が、和光市周辺地域も含め、弥生時代の環濠集落として、拠点集落の状況を示し、他地域からの人の移動や文化流入が見られるなど極めて重要な遺跡であるため。

②構想の基本方針(本文1ページ)

残り少ない遺跡地で集落遺跡の状況が分かるように保存地区を設け、歴史関係の見学だけでなく、地域周辺住民の憩いの場である史跡公園を目指す。

③保存管理基本方針(本文4ページ～)

エリアを史跡整備ゾーン、保存ゾーン、利用・活用スペースの3つに大別。

史跡整備ゾーンでは、住居跡の構造（疑木の柱構造）復元、環濠保存復元。保存ゾーンでは、マーキングで遺跡の住居跡など見えるようにする。利用・活用スペースでは利便施設としてトイレと一体型設置の展示ケースを設置する。

今後のスケジュール（予定）について説明。

平成 30 年

5 月 15 日 第 1 回文化財保護委員会
当日資料として構想の素案を示す。

5 月 15 日

～7 月頃 委員各位との意見調整を文書において行う。（郵送・メール等）

8 月上旬 文化財保護委員各位の意見を踏まえた修正案を作成。

8 月下旬 第 2 回文化財保護委員会において修正した構想案を提示し、教育委員会から文化財保護委員会へ諮問。

10 月～11 月 パブリックコメント等市民参加を実施。

12 月 市民意見を踏まえた構想最終案を作成。

平成 31 年

1 月 委員各位に構想最終案を郵送し、最終意見調整を文書において行う。
（郵送・メール等）

1～2 月 第 3 回文化財保護委員会開催。文化財保護委員会から教育委員会へ答申。

3 月 午王山遺跡史跡整備基本構想の策定。

○委員長

本日以降、委員各位と事務局とで意見調整を行い、8 月下旬予定の第 2 回文化財保護委員会で事務局から諮問があり、市民参加手続き後、第 3 回文化財保護委員会で委員会から答申するという流れである。

事務局の説明に関し、ご質問等のある方はいらっしゃるか。

○関口委員

生産緑地地区の解除の際、市が構想範囲内の土地を購入できるのか。構想を進めるには、公有化が必要であり、市が購入できる手立てを講じる必要があるのではないかと。

また、午王山遺跡内で現在、生産緑地の解除が行われ、開発行為に入った土地が見受けられる。住宅と混在する形で史跡公園ができるということになる。平成 28 年度に中央公民館で午王山遺跡を対象地とした第 3 回関東学生景観コンペディションが開かれた。ここでは遺跡全体を使った史跡公園イメージが発表された。この時のイメージと比較するとどうしても規模が小さく感じてしまうが、どういった公園にしていくか、具体性はあるか。

○事務局

土地の取得は、本構想の策定をもって担保としたいと考えている。構想の策定に当たっ

ては、文化財保護委員会委員各位のご意見や、パブリックコメント等の実施を通し市民のご意見を踏まえながら進めていく。委員各位、市民のご意見を力にして進めていきたい。

土地の購入財源については、一般財源などがあるが、クラウドファンディング、新たな基金の設置等を含め、多種多様に模索しながら、実現に向け努力していく。

また、土地を公有化しなければ史跡構想、遺跡が成立しないのかといったら必ずしもそうではない。市が土地を借用して建物を建てている土地もある。一番重視するのは、土地所有者の意向である。午王山の土地を売買するか、公へ借用するか、他の土地と等価交換するか等調整を図り、よりよい形を追求していきたい。

○関口委員

本文1ページの「(4) 構想の位置付け」には第四次総合振興計画の括りで書かれている。実際に動き出す時は、第五次総合振興計画の期間となるが、第五次総合振興計画でこの施策が確実に継続するのか疑問がある。

○事務局

最終的に、本構想は教育委員会としてではなく、市の構想という位置付けを考えているため、第五次総合振興計画に継続できる形にもっていききたい。

○鈴木委員

案1の範囲を構想エリアとして設定できれば、午王山遺跡内で開発が始まっている中で、遺跡としての価値を保てると感じている。

また、可能であれば午王山通りの道路も道路関係課、水道関係課と調整していただいて、構想の範囲としてもらいたい。道路部分を加えるだけでも、構想面積は大きく変わってくるはずである。

○矢崎委員

午王山通りの南側で、図1で言うと、第6次から第8次の畑3枚が構想に入っていないが、理由はあるか。

○事務局

第6次と第8次の土地は生産緑地が解除され、宅地の造成が始まっている。

○関口委員

今後予定されている北インターの東部区画整理事業と一体となった公園作りも考慮できると思う。

○委員長

以上で議題2を終了する。委員各位におかれては、事務局との意見調整を次回の委員会までに行っていただくことになるが、よりよい構想となるよう、ご協力をお願いしたい。

午王山遺跡については、残すべきものは残し、また、別の視点で考えることも必要かと思う。構想の策定に当たっては、我々の意見を反映しながら事務局には進めていただきたい。

(3) 平成 29 年度文化財保護事業報告及び(4)平成 30 年度文化財保護事業計画について

○委員長

議題(3)平成 29 年度文化財保護事業報告及び(4)平成 30 年度文化財保護事業計画について、事務局から説明願いたい。

○事務局

平成 29 年度文化財保護事業報告及び平成 30 年度文化財保護事業計画について資料に基づいて説明。

○委員長

事務局の報告について、質問やご意見、確認事項等はあるか。

○並木委員

文化財パトロールということで、以前、確認をお願いした地福寺にある筆塚に関する文化財説明板の文章についてであるが、文中の「筒の世は、静かにおくれ五十年」の「筒」は「花」の読み間違いであると思われる。市の見解を伺いたい。

○事務局

昭和 54 年に設置した説明板であり、当時の市の調査では「筒」と解釈した経緯がある。その後、市で新たな調査を行っていないため、「筒」表記のままだったが、ご指摘を受け、筆塚を改めて確認し、対応を検討していきたい。

(5) その他

○委員長

その他、報告や協議事項があれば、お願いしたい。

○矢崎委員

現在、練馬のふるさと文化館で、幕末から昭和期にかけての学校に関する展示を行っている。白子小学校の学校沿革史には、東輝学校について記載されており、その資料がパネル展示されている。資料を提供いただき、教育委員会に感謝を申し上げる。

○事務局

前回の文化財保護委員会で諮問した富士塚の進捗状況について報告する。

送付資料(平成 28 年度に志木市で開催された富士塚の講演会資料)のように、現在、事務局では、近隣を中心に他市の富士塚に関する資料集めに努めている。

今後、先に立ち上がった専門部会で現地聞き取り調査等を実施していく予定である。専門部会委員各位におかれては、その際にご協力をお願いしたい。

○鈴木委員

現在、富士塚の文化財指定に向けた諮問を受け調査しているところであるが、今後の指定候補で検討いただきたいものとして「白子の古銭」と「ダイズ種子圧跡土器」の2点を改めて申し上げておきたい。どちらも市指定文化財としてふさわしいと考えられる。

○並木委員

議題1の和光市史編さん準備委員会の所掌事務の中に、「資料の収集」とあるが、市史編さん事業のためだけの資料収集とせず、もう少し広い視野をもって資料集めを行っていただきたい。

5 その他

○委員長

その他事務局から何かあればお受けしたい。

○事務局

次回の審議会の日程は8月下旬を予定している。決まり次第連絡する。

○副委員長あいさつ

6 閉会